

時空を超えるバーチャル写真を生成するフィルターの研究



研究目的・目標

存在しない場所に富士山が存在している作品では、そこに存在する筈のないものが存在していることで面白い絵ができることがある。
そこで、背景に富士山が介入してくるようなフィルターを制作する。
このフィルターは、実際には存在しない場所に富士山などのその場所に行かなければ見れないものを映し出すフェイク画像を生成するものだが、撮影者が意図せぬ富士山のレイアウトにより、風景の意味に対する新たな気づきもたらされるかもしれない。

作品概要

本研究では Blender で制作したモデルを用いて、ウェブ上で富士山や蘭奢待、モアイ像、カアバ神殿といったモデルを出現させる。富士山などを 3D モデルで制作することで、自由に向きや高さ、距離を操作して見応えのあるものに見せることが出来るようにした。

モデル一覧



▲メッカ カアバ神殿



▲モアイ像

▼富士山



▲蘭奢待

サイト画面



サイトを開いたときにカメラや位置情報サービスの使用許可をすると AR の撮影ができる。
4つの中から好みの AR を選択したら、モデル調整で構図を決め、撮影。一番右のような写真が撮影できる。

今後の展望

制作したこのサイトによって、はじめに疑問に感じていた、そこに無いものがあることによる面白さと新たな発見が見ることができた。そのなかでもメッカを追加したことで、宗教的・文化的価値を提供する可能性が示され、AR 技術が単なるエンターテインメントを超えた社会的意義を持つのではないかと考えられた。そして、ユーザーごとに好きなモデルを追加することで各々が AR 写真を自由に撮影できるようになったときに AR の用途が広がりもっと普及していくのではないかと感じた。